

# 県士会 ニュース

No.229

[2024.10]



Kanagawa Association of Occupational Therapists — KAOT —

## TOPIC

### 2024年度地域リハビリテーション部活動紹介

協会主催「5歳児健診への作業療法士参画に関する情報交換会」に参加して…………… P.3

永年会員制度が開始します……………	P. 1
巻頭言……………	P. 1
News letter……………	P. 2
2024年度地域リハビリテーション部活動紹介 ～神奈川発達OT交流会に参加して～……………	P. 3
保険情報コーナー（第7回目）……………	P. 4
川崎市南部地区リハビリテーション連絡会……………	P. 5

各部からの報告……………	P. 5
生活行為向上マネジメント（MTDLP）推進委員会からの お知らせ……………	P. 6
理事会議事録……………	P. 6
求人案内……………	P. 8
事務局からのお願い……………	P. 8
編集後記……………	P. 8

## 永年会員制度が開始します

2024年度社員総会において、神奈川県作業療法士会における「永年会員制度」が承認されました。永年会員制度とは、当会に20年以上在籍されている会員で、且つ満65歳以上の方を対象とした会員制度になります。神奈川県の作業療法

士の発展や推進に寄与されてきたベテランの方々に、今後も後進の育成や更なる作業療法発展のため関わって頂きたく創設されました。詳細な内容や申請方法等につきましてはホームページをご覧ください。

※申請期間がありますので事前にホームページでご確認の上、期日までに申請書をご提出ください。（事務局）

## 巻頭言

### もうすぐ 第6回神奈川県臨床作業 療法大会が開催されます！

大会事務局 山口 拓也（鶴巻温泉病院）

「Communication—再動×再考—」と題し、人や社会との繋がりとコミュニケーションに焦点をあてた第6回神奈川県臨床作業療法大会があと2カ月に迫りました。参加される皆様には、コミュニケーションを通じてたくさんの人との繋がりを深めていただけることを願っています。

本案内では、大会の企画内容をご紹介します。まず、午前中の基調講演では、東北大学名誉教授である出江紳一先生から『目標達成を支援するためのコーチング』というテーマで講演していただきます。講演では、コーチングの座学にとどまらず、「なぜ対象者は目標達成が難しいのか」、「対象者が目標を自分事として捉えられているのか」といった問を通じてコーチングをする側の私たちが持つべき視点についても学べる内容となります。さらに、午後の基調講演では、認知症やバリデーションワー

カーのスペシャリストである作業療法士、佐藤良枝先生からは「目標設定の概念理解」をテーマに講演していただきます。講演では「目標設定とは何か」といった根本的な部分を伝え、参加者とともに正しい目標の作り方を考える時間を設ける予定です。さらに、一般公演では、『人生のラストに「笑い」と「生きがい」を』をモットーに全国各地を駆け巡る、作業療法士兼お笑い芸人の石田竜生氏をお招きし、『介護×笑い』をテーマにご講演いただけます。石田氏は、その取り組みは注目度が高く、数多くのメディアからも取り上げられています。皆様も笑いのあるコミュニケーション技術について学んでいただけたらと思います。その他のブースでは、『ICT救助隊』『e-スポーツ体験コーナー』が企画されており、様々な企画を通じてコミュニケーションについて触れて・体験してもらえるような内容となっています。

参加申し込みは大会当日まで可能です。申込みフォームは下記QRコードからアクセスして申し込みをしてみてください。参加費は県士会員2,000円、他都道府県会員3,000円、一般県民・学生の方は無料となっております。お申し込みがまだという方はこちらのQRコードを読み込んでアクセスしてみてください。本大会は久しぶりの完全対面開催となります。会場で皆さんとコミュニケーションによって繋がれることを心待ちにしております！



▲大会ホームページはこちら

# News letter

一般社団法人 日本作業療法士協会  
 地域社会振興部 地域事業支援課 地域包括ケア推進班主催

## 2024年度 第1回地域事業支援会議

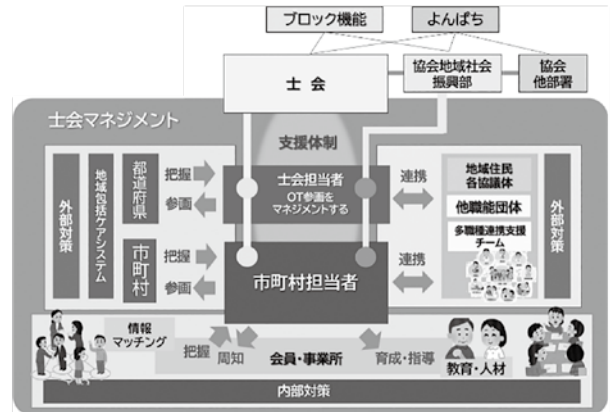
### 人々の活動・参加を支援し、地域共生社会の構築に寄与する作業療法

2024年度の第1回目となる地域事業支援会議が、7月20日（土）午前中にオンラインで開催され、今回は初の試みとして、選任者と聴講者に加えて各士会から士会長（またはそれに準ずる代理の役職者）にも参加をいただきました。総勢200名近くの方が参加される会議となり、当士会からは佐藤隼理事、神保会長、西川班長らが参加しました。

現在、多くの市町村では、介護職員やケアマネジャー、行政担当者といった支え手の不足により、自立支援や自助・互助の地域づくりが停滞しています。特に、作業療法士の役割や事業への適応に関する情報不足が大きな課題です。

今年は第四次作業療法5か年戦略の2年目であり、地域社会振興部が担う重点活動項目として、「地域で暮らすすべての人々を対象として、人々の活動と参加を支援する」および「地域における人のつながりや人と社会のつながりを創り出す」ことが挙げられています。これにより、作業療法のニーズに応えることが求められています。

市町村担当者配置事業は、士会マネジメント事業の大きな柱の一角です。今回の会議では、改めて作業療法の必要性を確認し、市町村配置事業の役割を明文化し、今後の活動展開を確認する機会となりました。



### 各事業の報告 全国の地域課題に作業療法で応える

#### 1. 1724の市町村担当者配置事業について

2023年度は約25% → ※目標 2024年度50%, 2027年度80%  
 当事業は士会内のマネジメント力を高めるための土台となる組織戦略と考えています。

【明文化された内容】※「定義」→「役割」に言葉が変更

全国約1700の市町村それぞれにおいて特定の市町村を担当する会員であり、子供から高齢者まで、障がいのあるなしに関わらず、市町村のニーズに応えるべく様々な場面に作業療法士が専門職として参画しやすい環境をつくるために活動する者を指す。

【配置方法・具体的な役割・その他】

- ・士会の状況を踏まえて独自にマネジメントした結果、士会毎に決まる。
- ・「市町村担当者」が日本作業療法士協会市町村担当者配置事業で使用している名称であることが分かるよう、あるいは誤解がないような配慮をするために「市町村担当者（日本作業療法士協会市町村担当者配置事業）」を基本とする。

◆神奈川県士会では県内33市町村窓口に加え、政令指定都市を細分化した窓口を担当者を配置することを目標としています

#### 2. 士会マネジメント事業について

【地域支援事業参画のための士会マネジメント事業】

全国約1700の市町村へ作業療法を届けるための「地域支援事業への作業療法士参画を推進するための具体策集であるQ&A集を作成中です。

今後も、地域支援事業に関する士会活動のマネジメントについて、考え方や具体的な方法、実際の活動例を、全国で活動されている会員の皆様からの情報をもとに提示してまいります。さらに各士会活動の推進につなげていけるよう、情報の提供、共有のための協会の活動にご協力をお願いいたします。

【取り組み内容】

- \* 調査事業と協力しアンケートの実施
- \* 士会選任者と士会長との進捗状況の共有の場を設定

#### 3. 地域づくりに資する作業療法士参画モデル事業について

作業療法士が参画することでの効果を示す目的である当事業について、2024年～2025年度で最大3事業の採択で募集を行った結果、21事業の応募がありました。本当にありがとうございます。採択にならなかった事例についても、ぜひ活用をしていくために士会マネジメント事業等で検討しております。

### 編集後記

文面にもありますが、今回の地域支援会議では各士会から会長・副会長の出席がありました。当士会からも神保会長や参加された理事がおられ、会長が直接質問される場面もあり活発な意見交換がされました。普段、会員のみなさんへ届く情報は「支援会議を理事会へ報告、必要な協議後、皆さんへ届く」です。しかし、今回は会議から会員のみなさんへ伝わる情報もよりスピーディに、かつ身近な情報として届けられるのではと思っています。

(文責：地域包括ケア推進班 西川 航平)

# 2024年度地域リハビリテーション部活動紹介

## ～神奈川発達 OT 交流会に参加して～

こんにちは、地域リハビリテーション部こども班です。  
 今回は 2024 年 4 月 20 日に行われた「神奈川発達 OT 交流会」に参加してきましたので、そのご報告をいたします。この交流会は、神奈川県発達 OT が有志で「県内の発達領域に携わる、もしくは興味のある作業療法士の交流会」として企画し、第 1 回目はコロナ前の 2019 年に開催、今回がコロナ後初開催でした。交流会には新卒の方から大御所の方まで総勢 30 名以上の方が集まり、終始和気藹々とした雰囲気の中交流を深めていっていただきました。初めましての方が多く、お互いの日々の臨床についての情報交換はもちろん、今後の発達 OT の展望について語り合っていました。

今回の交流会では、病院や療育センター、児童発達支援事業所や放課後デイサービスといった従来の発達 OT だけではなく、訪問や行政などでご活躍されている OT の方々も参加されており、発達領域に関わる作業療法士の数が多いことを実感しました。また発達領域においては、学校を含めて地域でのお子さんやご家族の生活を支えるために、これからの発達 OT として自分達に何が

できるのか一緒に考えて、一緒に動いていきたいと思いますというお話があり、とても印象的でした。また何より皆さんが楽しく参加されていたのが印象的でした。

神奈川県作業療法士会では、こども班を立ち上げられて間もないですが、「横のつながりを持ちたい」という会員の方々のご意見もあり、交流会を通じて知り合った方々とさらに県内の活動を通じてつながりを深めていきたいと感じました。

(文責：地域リハビリテーション部こども班 鎌田 崇寛)



## 協会主催「5 歳児健診への作業療法士参画に関する情報交換会」に参加して

2024 年 7 月 28 日（日）、日本作業療法士協会制度対策部主催の「5 歳児健診への作業療法士参画に関する情報交換会」がオンラインで開催されました。全国から 400 名超の申し込みがあり、当会からは遠藤理事と戸塚班長ら部員 3 名が参加しました。

情報交換会は、日本作業療法士協会の山本伸一会長のご挨拶からはじまり、こども家庭庁の職員の方による行政説明、日本作業療法士協会酒井常務理事からの説明と、5 歳児健診事業の取り組み事例として、群馬県前橋市、京都府南丹市、京都府京丹波町の 3 市町村からの報告、ならびグループワークを実施いたしましたので、ご報告いたします。

なお、乳幼児健診事業（以下乳幼児健診）の概要については、厚生労働省 HP [https://www.mhlw.go.jp/web/t\\_doc?dataId=00ta9663&dataType=1&pageNo=1](https://www.mhlw.go.jp/web/t_doc?dataId=00ta9663&dataType=1&pageNo=1) と合わせて、お住まいの自治体 HP をご確認ください。

### 【こども家庭庁から】

乳幼児健診は母子保健法に基づき「1 歳 6 か月児」「3 歳児」健診が義務化され各自治体で実施されています。令和 5 年度補正予算にて「1 か月児」「5 歳児」健診が予算化されたことを受け、各自治体での実施が今後広がっていくことが予測されます。特に 5 歳児健診については、社会性発達の評価のほか、発達障害のスクリーニング、健康増進を目的としており、作業療法士の参画が大きく期待されています。また 5 歳児は就学というライフステージの切れ目にあたることから、健診及びその後のフォローアップとして保健・医療・教育・福祉が一体となって住んでいる地域で子ども及びその家庭を支える体制作りが重要となります。

### 【日本作業療法士協会から】

5 歳児健診が予算化されたことを受け、各自治体での実施が今

後広がっていくことが予測されます。このタイミングこそ OT が参画するチャンスであり、OT としての役割を果たす新たなステージであると考えます。まずはポピュレーションアプローチのなかのスクリーニングである健診において、OT に求められる機能・役割を明らかにしていくことと、全国の 5 歳児健診に OT が適切に参画することが目標です。また早期介入が児童の社会的隔離を招かないような形で提供される必要があります。健診事業に参画する上で必要な知識・技術もあるため、今後研修会等を実施し、健診事業に参画する OT の標準化を図る必要があるため、来年度には実践事例集の作成や技術研修の開催を予定しております。

### 【取り組み報告・グループワークから】

群馬県前橋市では、年間出生数が 1839 人と対象児が多いことからスクリーニングの際質問紙を用いて行い、心理士と協力し個別相談へつなぐといった流れで実施されていました。京都府南丹市では、これまでの乳幼児健診事業の経験を元に、他職種で関わる 5 歳児健診に向けた構想を報告されていました。京都府京丹波町では、年間出生数が 39 人と対象児が少ないこともあり、専門職がこども園に直接訪問し、問診票と併用して集団観察を実施されていました。

グループワークでは、実際に健診に携わっている人だけでなく、興味のある人を含めて 100 名超の方が参加され、各グループに分かれて積極的な意見交換が行われました。「自分の住んでいる地域の健診がどうなっているか、地域支援に関われそうか、土会として今後どのような取り組みができそうか、5 歳児健診に関する質問、協会へのリクエスト」という内容をテーマに話し合われました。グループワーク後の全体共有では、地域差があり OT の健診事業への関わり方も区々であるといった報告があったほか、健診後のフォロー体制が整備されていることが今後重要であ

ること、行政に対してOTができることについてアピールできるリーフレットがあると良いといった意見が上がっていました。また士会としての取り組みとしては、健診事業を含めてこどもの領域に関わる作業療法士が増えたことで、横のつながりを作りたいという意見があがりました。

**【編集後記】**

今回、グループワークでも他都道府県士会の取り組みについて知る機会となりました。今後5歳児健診に参画する上で、地域によって特性が様々であるため、その特性を把握しつつ、行政との連携やフォローアップとして地域の受け皿との連携が重要となってきます。適切に参画していくために人材育成はもちろん、OT

同士の横のつながりを強化しつつ、他職種との連携に繋げていけると理想的であると感じました。また、実際の実践例を積み上げていき、具体的な情報収集を図り、各地域に適した取り組みを模索していく過程が必要になると思います。

今後、地域リハ部子ども班としては、健診事業に限らず、県内OTによる取り組み事例とネットワーク作りを通じて、地域医療だけでなく、福祉や教育にも参画できる人材育成や環境作りを進めていきたいと感じました。会員の皆様と更なる情報共有及び交流を深めてまいりたいと考えておりますので、引き続きご協力をよろしくお願い申し上げます。

(文責：地域リハビリテーション部子ども班 鎌田 崇寛)

**保険情報コーナー 第7回目**

**ご存じですか？ 新たな地域医療構想等に関する検討会(厚労省)  
令和6年3月29日(第1回開催)～年末にかけ最終まとめ  
～2025年度の医療需要結果は？リハビリテーション医療の未来予測は？～**

制度対策部 社会保障制度班 担当理事 **澤口 勇**

県士会会員の皆さん、こんにちは。制度対策部です。  
本コーナーでは「作業療法士に関わる諸制度（法律）」も含め、皆様のお役に立つ法令などの情報提供に努めております。

「地域医療構想」というワードを皆さん、ご存じですか？当士会会員の大方の皆さんは「病院施設」にお勤めかと思えます。病院施設というのは病院開設者が都道府県知事に開設等の許可申請をし、受理された上で今日も地域医療を担っております。そして「病床機能報告」も医療法に基づき、地域医療の現状把握や医療機能の分化・連携を推進する目的で病院では毎年、都道府県に提出しております。その内容は、病床の状況、手術件数、医療機器の台数、職員数、リハビリテーションの状況など多岐に渡ります。さらに病床機能は大きく4つに分かれおり『高度急性期』『急性期』『回復期』『慢性期』を指すのですが、この中から自院の各病棟が果たす機能を1つ選び、病棟単位で都道府県に報告されます。この機会に、ご自身の職場での病棟機能は何かを今一度確認してみると良いと思います。

地域医療構想とは、中長期的な人口構造や地域の医療ニーズの質・量の変化を見据え、医療機関の機能分化・連携を進め、良質かつ適切な医療を効率的に提供できる体制の確保を目的とし、2025年の医療需要と「病床数の必要量」について、医療機能（高度急性期・急性期・回復期・慢性期）ごとに推計し策定され今日に至っております。現在の病床数の変化ですが、病床数の合計・機能別とも概ね2025年の病床必要量に近づいているが、構想区域ごと・機能ごとに乖離が見られる区域もあり分析が必要と厚労省では述べておりました。

さて皆さんは気が早いと思われるかもしれませんが、2025年以降の未来について語ります。昨今の人口構造の変化は言うまでもありません。構想区域別に、年齢区分別人口の2015年から2025年まで、2025年から2040年までの人口変動をそれぞれ見ると、特に2025年以降については、地域ごとに状況が大きく異なっていくとの予測が出ています。すなわち「高齢者の急増」から「現役世代の急減」に局面が変化します。そして、地域別による人口動態が顕著となっていくのですが、大都市部では、

高齢人口が概ね増加、生産年齢人口は微増～減少へ、地方都市型では、高齢人口が増加～減少と幅広く、生産年齢人口は微減～大幅減へ、過疎地域型では、高齢人口が減少している地域が多く、生産年齢人口は概ね大幅減になると予測が出ています。

また人口構造の変化や治療技術の発展など複合的な要因も加味され『医療需要』も変化すると予測されており、がん・虚血性心疾患・脳梗塞については、急性期の治療の件数は増加しないと見込まれ、一方で、大腿骨骨折の入院患者数・手術件数は増加が見込まれています。注目は、在宅患者数の伸び率です。今後、多くの地域で増加が見込まれており、医療と介護の複合ニーズが一層高まると予測されています。おそらくリハビリテーションのメインターゲットも、このような医療需要の変化から全く新しい観点を、我々療法士たちは持たなければならない時代がもうすぐやって来ようとしています。

コロナ禍を経て、新興感染症等にも対応でき、かつ2025年度以降も安全・安心の地域医療体制を提供できるよう、今年度から『新しい地域医療構想』が検討されることになりました。検討により、リハビリテーションのニーズにさらに変化が起きると予測された場合、我々はその変化に対応しなくてはならないでしょう。

ここで皆さんに申し上げたいのは、皆さんが臨床家として興味・関心のある疾患等がもしあった場合、医療ニーズと合致していれば、私たちは職域として生き残れると思うのですが、今申し上げたとおり、今後は医療需要に変化が起きます。よって、職域を守るにはご自身の関心のある領域と、さらに構想区域ごとの医療ニーズも網羅していけるよう研鑽を重ねる必要があると思います。自分たちがやりたいこと・アピールしたいことをただ実践するだけでは、これからは生き残れない時代になっていきます。検討会の場にリハビリ団体は呼ばれていません。それは当士会も含め団体としてまだ公益性が官・民に届いていないからかもしれません。

時流もしっかりと学び、神奈川県内の各構想区域市民からも選択される職種とならなければなりません。

## 川崎市南部地区リハビリテーション連絡会

2024年7月25日川崎市総合福祉センターふくふくにて、川崎市南部地区リハビリテーション連絡会（以下川崎南部連絡会）が開催されました。今回は地域リハの川崎メンバーが参加してきました。当連絡会は、川崎市の中でも南のエリア（川崎区・幸区・中原区）のPT・OT・STを対象としており、地域リハ資源の情報共有（他職種・利用者に向けて）や、事例検討や研修会の開催を通じてセラピストのスキルアップなどを目的に、年3～4回の活動をされています。

今回の研修は「医療から地域リハビリテーションのつながりについて」というテーマで、川崎協同病院から病院及び事業の紹介と、川崎市総合リハビリテーションセンター（以下地域リハセンター）から事例を交えて、地域リハセンターの機能と役割について紹介を受けました。後半は「病院や地域にあったらいいなと思うサービスはどんなものか？」というテーマでグループディスカッションをし、PT・OT・STそれぞれの専門職及びそれぞれの職場からみた「あったらいいな！」について共有しました。また連絡会の前後では、地域リハセンターにある様々な装具や機器、設備、備品などを実際に見たり触れたりする機会があり、大変参考になりました。

対面研修会は今年度から再開されたとのことでしたが、実際に領域に関わらず地域のセラピスト同士の顔の見える関係性作り

を、本連絡会を通じてさせていただく機会が得られたのは貴重な体験でした。今年度はあと2回（11月と2月）開催される予定があるので、ぜひお近くの方は参加いただき、近隣の施設の方とつながりを作り、またセラピスト同士の横の連携を通じて、利用者の方の生活支援に繋げていけると良いと感じました。

（文責：地域リハ部 坂内（難病リハ班）・戸塚（こども班）・原島（精神保健福祉班））

川崎市南部地域リハビリテーション連絡会 HP  
<https://knanbureha.jimdofree.com>



～研修会に参加されたOTの先生方～

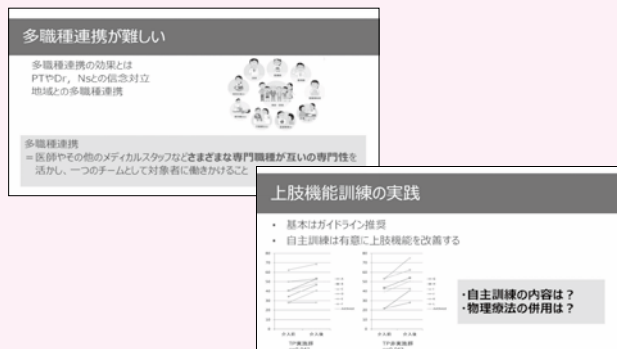
## 各部からの報告

### ▶ 学術部 学術部主催にて急性期・回復期・生活期の作業療法実践について研修会を開催しました！

（文責：佐藤 光）

6月23日に急性期・回復期・生活期の作業療法実践について各領域の先生方から講義していただきました。

参加人数は、対面とZoomのハイブリッドで45名以上が参加されました。急性期は、横浜市立みなと赤十字病院の芹澤健輔先生より、急性期におけるOTの役割を早期離床・栄養・機能面の視点から動画も使用して説明していただきました。回復期は、済生会東神奈川リハビリテーション病院の井上那築先生より、回復期病院で求められる退院支援について、先行研究を提示しながら面接・評価・治療プログラム・多職種連携など、支援方法を具体的に説明していただきました。生活期は、アール・クラ横浜の林慎也先生より、活動参加の視点で多くの写真や動画を通して説明していただきました。



### ▶ ウェブサイト管理委員会 研修会情報・求人情報案内（文責：ウェブサイト管理委員会 佐藤 範明）

県士会サイトは「みて役立つ！すぐ役立つ！まずはクリック！県士会サイト」のキャッチフレーズのもと、いつでも・だれでも・どこでも、県士会情報・作業療法にまつわる情報を閲覧できる県士会データベースとして整備をしています。

県士会のお知らせをはじめ、日々の臨床等にも役立つコンテンツも豊富です。また、県士会サイトでは神奈川県内の求人情報、神奈川県内外の研修会情報の発信を行っており、メーリングリスト・X(旧Twitter)・Facebook・Instagramを登録することで更新情報をいち早く受取ることが可能です。

以下のQRコードから各種メディアの登録が行えます。

ウェブサイト管理委員会としても皆様にとって役に立つ県士会サイトの運営に努めてまいります。是非ご活用いただければ幸いです。

#### 【各種メディア 県士会発信情報受取 QR コード】



電子メール（メールマガジン）  
Kanaからの手紙



X(旧Twitter)



Facebook



Instagram

## 生活行為向上マネジメント(MTDLP)推進委員会からのお知らせ ～ MTDLPいち推し～

### MTDLPは、よりよい作業療法実践を目指す一つの手段です！

今号では、緊急かつ重要なお知らせがあります。すでにOT協会のホームページに掲載されていますが、2025年度より、新しいMTDLP研修制度・MTDLP事例報告が構築されます。それに伴い、MTDLP実践の評価を担ってこられた「事例報告登録制度におけるMTDLP事例報告の受付が終了」となります(2024年6月理事会にて、2025年度以降のMTDLP事例の審査体制案を踏まえ、2024年12月をもって事例報告登録制度におけるMTDLP事例報告の新規受付終了とすることが承認されました)。それを受けて、協会では2025年度より新しいMTDLP事例報告を開始できるように準備を進めています。

現在、登録中もしくは審査中、これから登録しようとする方は、協会ホームページを必ずご確認ください。終了まで時間はありません。

協会ホームページ→会員向け情報→重要なお知らせ内に「MTDLP事例報告登録の受け付け終了に関して」がありますので、必ずご確認ください。

#### 2024年度MTDLP関連研修会情報

##### 1. MTDLP基礎研修 ★今年度より対面開催します！

本研修会は、生涯教育制度現職者選択研修の必須研修です。

- ① 2024年10月13日(日) 9時30分～17時30分  
会場：横浜リハビリテーション専門学校(東戸塚)

- ② 2025年2月16日(日) 9時30分～17時30分  
会場：ウイリング横浜(上大岡)

##### 2. MTDLP事例検討会 ★Zoom開催です。

本研修会では、発表者へは事前に発表資料を提出いただき添削をして発表準備を支援し、発表後はMTDLP事例報告登録を支援しています。また、事例報告の発表だけでなく、聴講するだけの参加も可能です(発表したことにはなりません)。実際のMTDLPの実践をぜひお聴きください。

- ① 2024年9月29日(日) 13時～17時  
(申し込み者数により早く終了することあり)
- ② 2024年11月20日(日) 13時～17時  
(申し込み者数により早く終了することあり)
- ③ 2025年1月22日(火) 19時～21時  
(申し込み者数により早く終了することあり)
- ④ 2025年3月2日(日) 13時～17時  
(申し込み者数により早く終了することあり)

研修会内容や申し込み方法などの詳細は、[神奈川県作業療法士会ウェブサイト](#)をご覧ください。

(文責：MTDLP推進委員会 奥原 孝幸)

## 理事会議事録

### ★2024年度第2回理事会 議事録 2024.6.13

日 時：2024年6月13日(木) 19:00～21:10

開催方式：オンライン開催

場 所：職場または自宅

出席理事：神保武則(会長)、田中ゆかり(副会長)、吉本雅一(副会長)、玖島弘規(事務局長)、奥原孝幸、青木啓一郎、佐々木秀一、望月強併、遠藤陵晃、澤口勇、神田崇央、神保洋平、金山桂、佐藤隼、佐藤範明、山勢健太郎、野本義則

出席監事：錠内広之、野々垣睦美

その他出席者：兵頭夏海(事務局部員)、神原文香(事務局部員)

#### I. 会長より挨拶

先日の総会は語り合う展開でよかったと思います。我々が前に進んでいる姿勢を見せられたのではないかと考えています。課題は持ちかえり、理事会で審議していけたらと思います。

#### II. 審議事項

1. 横浜市障害支援区分認定審査会委員の推薦について(事務局)

→賛成多数で承認

2. 「協会員＝士会員」実現のための方策と工程表(修正案)(事務局)

→賛成多数で承認

3. 部員申請(事務局)

学術部2名

→賛成多数で承認

4. 研究協力における会員情報の提供について(事務局)

正会員より研究協力の依頼があり、神奈川県士会会員の所属先を提供して欲しいというものであった。

→日本作業療法士協会のポータルサイトにて会員情報が閲覧できる。その情報を提供し、対応可能か確認する。

5. 学生会員規程の修正について(規約委員会)

定款に次年度からの学生会員の初年度会費と入会金無料について明記していないことがわかった。今後定款の修正をしていきたいと思う。

→賛成多数で承認

6. 第20回県学会と県士会のコラボ企画案について(学会評議委員会)

理事会の意見として、新規入会者数も考えながらであれば、ともに新規入会者を増やす目的で、コラボ企画を考えたい。理事会と県学会のコラボ案について理事会の意向を伺いたい。

横浜市の後援依頼は賛成多数で承認。コラボ案についても検討していく。

#### III. 報告事項(各部署・理事・三役)

1. 福利部

- (1) 新入会員オリエンテーションについて

日時：2024年6月23日(日)

場所：IMS横浜国際看護専門学校

対象者：神奈川県内に就職した新入職員、他県からの転入会員、新規で入会した会員

2. 田中副会長

- (1) 渉外報告「リハビリ手帳普及部 POS会議」

リ手帳を利用するようになった背景として、神奈川県地域医療介護連携ネットワークでリハ職も含めて連携していくこととなった。県内、複数の地域で地域医療連携ネットワークを順次構築し、さらに広域のネットワークに接続することで、県民の医療情報を広域的に共有する仕組みが必要とされている。

今後、全県で連携シートを利用して情報共有していくことが必要。

3. 澤口理事

- (1) 神奈川DWATについて

研修会案内について県士会ホームページに掲載中。

研修日：2024年7月22日10時～16時30分(オンライン)

#### 【その他報告部署・理事】

1. 神保理事

昨年度までポイント申請の登録エラーが出た場合、追跡調査をしていた。今年度よりポイント申請のエラーがあった場合は、講師を除き、本人からポイント申請の依頼があった場合のみ対応させて頂く。

2. 遠藤理事

三役と相談した上で、神奈川県介護予防事業支援の受託についてはお断りしている。

3. 佐藤(隼)理事

認知症の関連団体から連絡があり、コロナ禍もあり当会の参加が休会

になっていたが再度、作業療法士会の参加の依頼があったため、小田原地域にいる方の紹介など対応できる範囲で参加していけたらと思う。

#### IV. 監事より

##### 野々垣監事

新入会のメンバーが加わり、県士会としても優先順位をつけながら進めていければと思う。

学会の話も進んでおり、理事会で議論し様々なことを検討していけるよう協力していきたい。

##### 錠内監事

以前、政治連盟から降りることをお伝えしたが、今後は神田理事に責任者を継いでいただくことをお願いした。今後も協力をお願いしたい。

以上（事務局長 玖島 弘規）

### ★ 2024 年度 3 回理事会 議事録 2024.7.18

日 時：2024 年 7 月 18 日（木）19：00～21：00

開催方式：現地開催

場 所：商業ビル「セルテ」8 階会議室

出席理事：神保武則（会長）、田中ゆかり（副会長）、吉本雅一（副会長）、望月強併、佐藤隼、遠藤陵晃、澤口勇、青木啓一郎、野本義則、神田崇央、神保洋平、金山桂

出席監事：錠内広之

欠席理事：玖島弘規（事務局長）、奥原孝幸、佐々木秀一、佐藤範明、山勢健太郎

欠席監事：野々垣睦美

#### I. 会長より挨拶

OT 協会の「協会員＝士会員」の取り組みは 2 年後の実現を目指して作業を進めているところ。未だ協会と士会の協定を結んでいない士会もある状況。今回の理事会では、5 月の総会で持ち帰った会員規程の案件や来年度から運用予定の新組織図に基づく体制の見直しについて具体的に議論出来ればと思います。

#### II. 審議事項

##### 1. 後援依頼（事務局）

・第 43 回神奈川県病院学会に係る協力団体名義使用について

→賛成多数で承認

##### 2. 賛助会員 A 申し込み（事務局）

→賛成多数で承認

##### 3. 新規部員申請（学術部・認知症対策委員会）（事務局）学術部 1 名、認知症対策委員会：1 名

→賛成多数で承認

##### 4. 臨床大会について（学会評議委員会）

お笑い企画として、笑いの活用法を講演に盛り込む方向でお笑い芸人兼 OT の石田竜生氏と交渉している。予算は 10 万円＋交通費（約 2.5 万円）で、予算の企画費から捻出する予定。お笑い芸人として委嘱をしたい。

→賛成多数で承認

##### 5. 地域医療介護総合確保促進法に基づく神奈川県計画（令和 7 年度分）（介護分）に位置付ける「介護従事者の確保に関する事業」のアイデア募集について

当事業において「資質の向上に資する事業、22、認知症ケアに携わる人材の育成のための研修事業等」として現状の認知症対策委員会で行っている、「認知症アップデート研修」を介護従事者にも対象を広げて提案していく予定。

→賛成多数で承認

#### III. 報告事項（各部署・理事・三役）

##### 1. 福利部・吉本副会長

###### (1) 新入会員オリエンテーション・代議員交流会について

代議員交流会には、代議員 4 名、理事 12 名。

新入会員オリエンテーションは新入職員及び若手職員 20 名、理事 12 名、代議員 3 名 計 35 名参加。

今後の取り組みについて、臨床大会テーマ「コミュニケーション」に沿って参加者交流を検討。

フリースペースとして県士会の入会ブースおよび、交流が出来る場所として設置を検討。

###### (2) 倫理相談窓口相談フローについて

現在フローを改変中。現フローの課題として①相談方法が電話のみで相談者のハードルが高い②相談を受けた後の倫理班の中でのフローが無いことと考え、フローの一部改変を検討している。

##### 2. 制度対策部

###### (1) 神奈川 DWAT

令和 6 年度神奈川 DWAT 登録研修会 21 名応募だったが 18 名に変更 県社協・県に名簿を提出済

###### (2) OT 協会からの安否確認システムの訓練があり

日程：9 月 25 日 11：00 頃に実施予定

##### 3. 学会評議委員会

###### (1) 第 6 回臨床大会進捗状況

現在大枠の企画については決定しつつある。

###### (2) 第 20 回県学会進捗状況

2025 年 9 月 21 日（日）、横浜市開港記念会館に決定。

###### (3) 学会後援について

学会の後援依頼をする際は、理事会承認をしているものとしていないものがある。基本的には承認の必要なしとし、現在学会評議の方でマニュアルを作成中。

規約委員会より、昨年度規程で共催、協賛及び後援に関する規定を制定している。そこに「共催等の受諾、依頼には理事会の承認が必要」と明記があり、後援依頼を行う場合には理事会の承認が必要となる文言となっている。そのため規程の「依頼」の削除について規約の修正の審議を急遽行った。

→賛成多数で承認

##### 4. 生活行為向上マネジメント委員会

###### (1) MTDLP アンケート結果

2024 年 1 月 11 日から 3 月 15 日まで実施した「生活行為向上マネジメント（MTDLP）に関する意識調査」アンケートの結果について説明

MTDLP の普及や現場の活用を進めていくためには多くの課題があるが、今回頂いた意見をふまえ、より多くの方々に MTDLP を学び実践していただけるようサポート体制を強化していく。

##### 5. エリア化推進委員会

###### (1) 各エリア化の具現化

すでに示されている 8 エリアに対して、その責任担当者を配置。

責任担当者は、県士会事業との足並みの揃えやすさから、当面は理事（もしくは理事経験者）を基本とする。

今年度中に次年度事業を検討し、次年度予算の計上を行っていく。

##### 6. 田中副会長

###### (1) 2024 年度事業中間報告と次年度事業について

9 月 28 日（土）に開催の対面の理事会にて、本年度の中間報告と次年度事業についての検討を行う。

##### 7. 会員モデル WG＋事業計画・予算案に関する定款について

・入会金及び初年度年会費無料について

5 月の総会にて学生会員は承認されたが、「入会金及び初年度年会費無料」については定款への記載はなく、総会での承認が必要となることから、現状では行うことが出来ない状況となった。

学生会員の特典と考えていたが、新卒者が他県から神奈川県内に就職した場合、同じ職場内でも入会費及び年会費に差が生じてしまい、未入会になってしまう可能性も考えられた。

（提案）

学生会員に限らず、新卒者を対象として入会促進、経済的負担への配慮から「入会金及び初年度年会費無料」を提案する。（申請期間を 4 月から 10 月の半年間とする）

来年度からの運用を考えて、11 月上旬に臨時総会の開催を検討したい。

・事業計画・予算案について

定款の総会の項目で（権能）(4) では (4) 事業計画及び収支予算の決定の記載がされている。

当会ではこの記載があることで、新年度の事業計画・予算案の確定が得られていないことで、年度が変わった際、事業の開始に遅延が生じている。OT 協会の定款は同様の項目がないため、協会の総会では、報告事項とし事業計画および予算の決定が行われ新年度事業開始がスムーズに行われている。

今後神田理事から全国公益法人協会に問い合わせも行い、可能であれば学生会員の臨時総会の際に変更し、年度が変わった段階から事業展開が出来るようにした方がよいのではないかと。

→「入会金及び初年度年会費無料」と「定款変更について」理事からの意見を聴取する。

##### 8. 組織改編について

組織改編のスケジュールと現状決まっている組織改編の図を基に説明。来年度の総会にて組織改編を行い、実運用に入っていく。大枠の組織図は決まってきたが、委員会や班などの詳細については年度下期の検討事項となっている。

→次年度の事業計画は、事務局、学術部、教育部、制度対策部、地域社会振興部、広報部、エリア連携部の 7 つの部（局）で予算案も含め、事業計画を立案して頂くことを考えている。

#### IV. 監事より

県士会の事業運用には定款・規約に沿った業務遂行をお願いします。

以上（事務局長 玖島 弘規）

# 求人案内

作業療法士 募集

## 医療法人社団博奉会 相模ヶ丘病院

**募集資格:** 作業療法士 (又は取得見込み)  
**応募資格:** 経験者・新卒者  
**勤務形態:** 常勤  
**業務内容:** 精神科病院 (認知症治療病棟含む) における入院患者へのリハビリテーションプログラムの企画・運営・評価等  
**勤務時間:** 9:00 ~ 17:00  
**休日:** 年間休日 112 日 (令和 6 年度)、有給休暇、夏期休暇 (3 日)、年末年始 (5 日)、特別休暇  
**給与:** 245,000 円~

**待遇:** 昇給年 1 回、賞与年 2 回 (昨年度実績) 交通費全額支給、退職金規程有、社会保険完備  
**勤務地:** 神奈川県相模原市南区下溝 4378  
**応募方法:** 随時電話連絡の上、履歴書 (写貼)・資格証の写し (新卒者の場合は成績証明書、卒業見込証明書) をご郵送下さい。

### 問い合わせ先等

採用係  
 電話番号: 042-778-0200 (相模ヶ丘病院)  
 Eメール: soumuhp002@hakuhou-kai.or.jp  
 URL: <https://www.hakuhou-kai.or.jp>  
 小田急線相武台前駅から徒歩あり  
 JR 相模線下溝駅から徒歩約 10 分

### 事務局からの お願い

- **届出内容を  
変更される方** 住所・勤務先・氏名・送付先等の変更がある方は、『登録内容の変更届』を ①郵送 ②FAX ③電子メール (kaiin@kana-ot.jp) にてご提出願います。(随時受付)
- **休会される方** 来年度に休会予定の方は、前年の **12月31日** (末日消印有効) までに ①『休会届』と ②『証明書』を郵送でご提出願います (FAX不可)。
- **退会される方** 年度内に退会予定の方は、**3月15日** までに『退会届』を ①郵送 ②FAX ③電子メール (kaiin@kana-ot.jp) にてご提出願います (上記日必着)。

届出書類は、神奈川県作業療法士会ホームページ公式 **ウェブサイト** の INDEX より、ダウンロード可能です。なお期日までに提出いただけない場合は、次年度の会費が自動引落しとなり、返金を致しかねます。

### 編集 後記

今号も永年会員のお知らせ、地域での各活動報告、臨床作業療法学会のお知らせなど様々な情報を掲載いたしました。中でも巻頭の 12 月実施「第 6 回臨床作業療法大会」は、11 月に北海道に開催される「APOTC (2024 年アジア太平洋作業療法学会)」に続く翌月の開催です。北海道には行けないよー、という方も地元神奈川で集まって意見交換できる場があるのは嬉しいですね。もちろん両方参加の方々も 2 か月連続で嬉しいですね。(びぐめい)

### 一般社団法人 神奈川県作業療法士会ニュース (229号) 2024年10月発行 (年4回発行)

**発行責任者** 神保 武則  
**編集責任者** 金山 桂  
**編集担当** 出口 弦舞 (国際医療福祉大学 小田原保健医療学部 作業療法学科) / 山岡 洸 (湘南慶育病院) / 佐藤 愛 (悠の木株式会社) / 丸岡 ちひろ (済生会横浜市東部病院) / 松井 洋鷹 (渕野辺総合病院) / 碓屋 瑛理 (佐藤病院)

印刷 発送 株式会社高陽印刷所

**事務局** 〒231-0011 横浜市中区太田町 4-45 第一国際ビル 301 号  
 TEL/FAX: 045-663-5997  
 月火水木金 10:00~15:00  
 メールアドレス: jimu@kana-ot.jp

一般社団法人 神奈川県作業療法士会ウェブサイト

<https://kana-ot.jp> → **作業療法 神奈川** 検索

Facebook <https://www.facebook.com/kaotwebkan>

X <https://twitter.com/kaotwebkan>

